

日本学術会議第76回総会報告

第76回総会は、10月25日（水）～27日（金）までの3日間、日本学術会議講堂で開かれた。

第1日目にはまず、沖縄からオブザーバーとして参加された沖縄大学学長安良城盛昭、琉球大学理学部教授山里清の両氏が紹介された。次いで8月12日逝去された第2部所属の野間繁会員の御冥福を祈って黙とうをささげた後、その補充として新たに会員になられた東京大学法学部教授滋賀秀三氏が紹介された。

続いて会長報告が行なわれ承認された。さらに、科学技術会議に対して学術会議は積極的に働きかけることが必要である旨言及された。

引き続き、運営審議会付置の日本学術振興会、広報、財務、勧告等、日本学術会議改革検討、国際会議主催等検討、第11期活動計画調整、選挙の各委員会報告並びに質疑応答が行なわれた。この中で財務委員会からは1979年度の概算要求として審議経費を重点に18.8%増の要求を行なったことが報告された。また、広報委員会がまとめた「本会議と国会との連絡に関する方針」が報告された。

午後は各部会報告がなされた。期の始めのこともあって、部会の活動状況に加えて今期における各部固有の基本的問題の審議計画が述べられた。

続いて、国際学術交流、学術体制、研究費、科学研究計画、科学者の地位、学問・思想の自由の各常置委員会報告が行なわれた。国際学術交流 ICSU 分科会では、ICSU への中国加盟をめぐる情勢について、同総会に出席された伏見会長から補足説明があり、研究費および科学研究計画委員会の報告に関連して巨大科学のあり方等について発言があった。

第2日目は、午前中科学振興基本問題、発展途上国学術協力問題、国公立研究機関問題、学術情報生産・流通問題の各特別委員会の報告、午後には災害問題、環境・健康問題、食糧需給問題、エネルギー・資源開発問題、原子力平和問題、国際協力事業の各特別委員会の報告が行なわれ、それぞれについて活発な質疑・応答があった。

続いて行なわれた中央選挙管理会報告の後、特に原子力研究連絡委員会から、「医療法に規定する以外の加速器・原子炉等による医療照射についての暫定的ガイドライン」についての説明がなされ、その趣旨が了承され

た。

続いて提案審議に入り、まず「中層大気国際協同観測計画（MAP）の実施について」（勧告）が提案され、宮原第4部長からその必要性等、鈴木第4部会員から学術会議内部特に第4部会での検討内容、国際協力事業特別委員会 STP 分科会の永田武委員長から国際的背景および計画内容についてそれぞれ説明があり、審議の結果満場一致で原案を採択した。次に、「第11期における研究連絡委員会の組織・運営等の整備について（申し合わせ）の一部改正について」が提案された。これは、研究連絡委員会の一部の名称変更と定数変更に関するもので、第11期活動計画調整委員会の今道委員長から理由説明の後審議を行ない満場一致で原案を採択した。続いて、「委員会調整のための運営審議会付置小委員会の設置に関する運営審議会への授権について」が提案され、渡辺同委員会幹事から提案理由が説明された。これは、次回総会までの間に委員会の任務・定数等について調整する必要が生じた際の小委員会設置に関する授権であって、審議の結果満場一致で採択された。次に、「総会の議案についての一部改正について」が提案され、日本学術会議改革検討委員会法規分科会の三宅委員長から理由説明があった後、満場一致で採択された。

続いて、学問・思想の自由委員会からの要望により自由討議が行なわれた。高柳委員長から元号問題にからむ歴史学研究会大会における暴力行為等、元号法制化問題、有事立法問題についての説明があり、同委員会ではこれらの問題を政治的ではなく学問・思想および表現の自由という立場で取り上げている旨述べられた。これを受けて、多くの会員から活発な意見が述べられた。

第3日目は、午前中「第11期における課題および各種委員会（研究連絡委員会を除く）の整備について」が提案され、第11期活動計画調整委員会の今道委員長、渡辺幹事から提案理由の詳細な説明があった。これは、1）前総会で審議した各種委員会の任務についてその後修正要求のあったものを含め一括して決定すること、2）国際協力事業特別委員会の設置、および3）運営審議会付置沖縄学術連絡委員会の設置、の3点に関するものである。各点について活発な意見の開陳があり、特に3）については、臼田第1部会員および安良城オブザーバーから沖縄の特殊事情についての発言があった。審議の結果

原案を一部修正し満場一致で採択して本総会を終了した。

3日目午後は、部会・委員会が開かれ、また会員による学術講演会が開催された。

なお、本総会の出席率は1日目90%、2日目85%、3日目80%であった。

(日本学術会議広報委員会)

CONTENTS

A Review of Recent Hail Research and Hail Suppression Activities.....T. Omoto ...2~18
Objective analysis of rainfall distribution and displacement of heavy rainfall area based on radar and gauge measurements for surveillance of heavy rainfalls.....K. Ninomiya, T. Akiyama...19~26

日本気象学会賛助会員

団体名	所在地
関西電力株式会社	大阪市北区中之島 3-5
中部電力株式会社	名古屋市東区東新町10番地の1
東京電力株式会社	千代田区内幸町 1-5
財団法人日本気象協会	千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
四国電力株式会社	高松市丸の内 2-5
中国電力株式会社	広島市小町4番33号
東北電力株式会社	仙台市東一番丁 3-7-1
日産自動車株式会社	杉並区桃井 3-5-1
日本航空株式会社	千代田区丸の内 2-7 東京ビル
北陸電力株式会社	富山市桜橋通り3番1号
北海道電力株式会社	札幌市中央区大通り東1丁目
株式会社小笠原計器製作所	目黒区中央町 1-5-12
株式会社日立製作所	千代田区丸の内 1-5-1
株式会社オーシャンルーツ	港区芝 3-1-15
札幌市	札幌市中央区北1条西2丁目
明星電気株式会社	文京区小石川 2-5-7
紀本電子工業株式会社	大阪市天王寺区舟橋町 2-1
全日本空輸株式会社航務本部	大田区羽田空港 1-6-6
全日本空輸株式会社東京空港支店運航部	大田区羽田空港 2-2-3
ティアック株式会社	武蔵野市中町 3-7-3
シャープ株式会社産業機器事業本部	新宿区市ケ谷八幡町8
電力気象連絡会	千代田区麴町 4-5 海事センタービル日本気象協会中央本部内
東京芝浦電気株式会社	千代田区内幸町 1-1-6
日本原子力発電株式会社	千代田区大手町 1-6-1
日本航空株式会社運航業務部業務課	大田区羽田 東京国際空港内
日本無線株式会社	港区芝西久保桜川町 25
海上電機株式会社	千代田区神田錦町 1-19
カネコ計測工業株式会社	杉並区荻窪 5-27-8 第一荻窪ビル
株式会社気球製作所	大田区北糞谷 1-23-10
トーテックス株式会社	上尾市大字上野 765
損害保険料率算定会	千代田区神田錦町 東京天理教館内
株式会社牧野応用計器研究所	中野区沼袋 3-19-4
三菱電機株式会社	千代田区丸の内 2-2-3
中浅測器株式会社	中央区日本橋 3-2-9
光進電気工業株式会社	目黒区八雲町 3-10-3
株式会社日本エレクトリックインスルメント	横浜市戸塚区平戸町 1827-2